

## 「キャリア・パスポート」を活用した授業例①

HR や総合的な探究の時間等

- (1) 高等学校 特別活動
- (2) 1学年 ホームルーム活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」  
ア 学校生活と社会的・職業的自立の意義の理解
- (3) 題材「これまでの「キャリア・パスポート」を他者に紹介し、自分自身の成長を再認識する」  
▶クラスメイトとの関わりを通じて自己の将来に関する考えを深めることの大切さを理解し、自己を見つめ、これまでを振り返りながら主体的に新たな学習に取り組むことができるようにする。
- (4) 事前の指導 (活動)  
▶クラス内の人間関係づくりを行っておく。(他者を考えや意見を受け入れる雰囲気づくり)  
▶小・中学校時に作成した「キャリア・パスポート」を見返し、クラス内で紹介する内容等の準備をさせる。
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ねらい「これまでの「キャリア・パスポート」を他者に紹介し、自分自身の成長を再認識する」について確認</li> <li>▶これから行う活動の流れについて確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶多様な考えや意見を受け入れ、尊重し合う雰囲気をつくるため、相手の意見を否定しないといった「グランドルール」を確認する。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶小・中学校時に作成した「キャリア・パスポート」をもとに、グループ内で、「これまでに自分なりに努力してきたこと」など、各自の成長や変容を話し合う。</li> <li>▶グループ内の話し合い活動の内容をワークシートにまとめる。</li> <li>▶クラスメイトコメントや、クラスメイトとの話し合いで感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶グループ内での話し合い活動とする。</li> <li>▶時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒と話し合いができる機会を確保する。</li> <li>▶振り返りを通して、自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶「高校生のみなさんへ」や「〇〇高等学校のみなさんへ」を読み、高等学校においてさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、高等学校で「キャリア・パスポート」を作成することの意義を再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶高等学校において、授業やさまざまな行事等を通してどのような力を伸ばしたいかを意思決定させる。</li> </ul>

- (6) 事後の指導 (活動)  
▶「一年を見通し、振り返る」様式の「自分のどんな力を伸ばしたいか」や、「学期を見通し、振り返る」様式の「特に心がけて取り組もうと思っているところ」についてまとめる。
- (7) 実施時期について  
▶入学後、クラス内の人間関係が一定できた4月中旬以降を想定しているが、4月に「仲間作り合宿」などの取組がある学校については、合宿中のプログラムの1つとして行うことも考えられる。

## 「キャリア・パスポート」を活用した授業例②

- (1) 高等学校 特別活動
- (2) 2学年 ホームルーム活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」  
エ 主体的な進路の選択決定と将来設計
- (3) 題材「自分を知り、進路を見直す」  
▶自分自身の興味・関心などの個性を理解した上で、自分の将来の生き方や生活について見直しをもち、進路選択を行う。
- (4) 事前の指導 (活動)  
▶これまで作成した「キャリア・パスポート」をもとに、今学期の自分自身の成長や今後の方向性 (自分自身の進路や進路実現に向けた具体的な手立てを含む) 等を自己評価する。
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶ねらい「自分を知り、進路を見直す」についての確認 (これまでの「キャリア・パスポート」を整理し、自分の興味関心等の個性を理解し、自分の将来の生き方や生活について見直しをもち、進路選択を行う。) ▶この活動をもとに三者面談を行うことについての確認	▶多様な考えや意見を受け入れ、尊重し合う雰囲気をつくるため、相手の意見を否定しないといった「グランドルール」を確認する。
展開	▶これまでに作成した「キャリア・パスポート」(「学期を見直し、振り返る」「学校行事」等の様式)をもとにグループで話し合い、相互評価を行うとともに、生徒自身が行うプレゼンテーション(「私のプレゼンテーション」)の原稿を作成する。 ▶作業途中で各2分間のプレゼンテーションの練習をする。(グループで話し合い、相互評価をくり返す。)	▶取組がうまく進んでいない生徒に対して、教員が個別の支援を行う。 ▶多様な考えや意見を受け入れ、尊重し合う雰囲気をつくるため、相手の意見を否定しないといった「グランドルール」を確認する。
終末	▶(これまでの「私のプレゼンテーション」の作成や話し合い活動を通じて)二者面談や三者面談という進路選択の場面に向けた決意と具体的な進路への目標設定を意思決定する。	

- (6) 事後の指導 (活動)  
▶【「生徒が話す三者面談」】「キャリア・パスポート」を活用してまとめた今学期の自分自身の成長や今後の方向性 (自分自身の進路や進路実現に向けた具体的な手立てを含む) 等について、面談の中でクラス担任、保護者にプレゼンテーションを行う。  
▶面談中に感じたことや考えたことを踏まえ、次の「学期を見直し、振り返る」様式を作成する。
- (7) 実施時期  
7月中での実施を想定している。(2年次に限らず毎学年実施することも考えられる。)  
また、上記の授業例をもとに、次のような取組も考えられる。  
【「生徒が話す二者面談」】  
作成した「キャリア・パスポート」をもとに、自分なりに取り組んできたことやこれから取り組もうと考えていることについて、クラス担任に対して生徒が自分の言葉でプレゼンテーションを行う。

## 「キャリア・パスポート」を活用した授業例③

- (1) 高等学校 特別活動
- (2) 3 (4) 学年 ホームルーム活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」  
エ 主体的な進路の選択決定と将来設計
- (3) 題材「小学校から高等学校までを振り返り、自分自身の今と将来を考える」  
▶これまでや現在の自分を振り返り、自己の興味・関心や適性を把握するとともに、将来の生活における職業人、家庭人、社会の形成者などとしての活動等について考え、人生や将来の生活を具体的に描く。
- (4) 事前の指導 (活動)  
▶小・中学校、高等学校においてこれまでに作成した「キャリア・パスポート」を見返し、改めてこれまでの自分の「足跡」を整理し直す準備をさせる。  
▶社会への貢献の仕方や将来の生き方のヒントとなるような参考資料 (新聞記事や書籍等) を事前に各自で収集させる。
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ねらい「小学校から高等学校までを振り返り、自分自身の今と将来を考える」について確認</li> <li>▶これから行う活動の流れについて指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶多様な考えや意見を受け入れ、尊重し合う雰囲気をつくるため、相手の意見を否定しないといった「グラドルール」を確認する。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶(小・) 中学校で作成した「18歳の私へ」様式を読み返し、感じたことや考えたことを個人でまとめる。</li> <li>▶小・中学校、高等学校において作成した「キャリア・パスポート」をもとに、「小学校から高等学校までを振り返る」様式を活用し、グループで話し合う。</li> <li>▶事前に各自で収集してきた社会への貢献の仕方や将来の生き方のヒントとなるような参考資料も活用しながら、自分自身の将来についてグループで話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶自己実現につながる意思決定としての取組であることを意識させる。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶グループ内における話し合い活動で感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶振り返りを通して、さらなる自己理解や他者理解につなげる。</li> </ul>

- (6) 事後の指導 (活動)  
▶作成した「小学校から高等学校までを振り返る」様式の内容をブラッシュアップし、進学・就職に向けた志願理由書等を作成する。
- (7) 実施時期について  
卒業年次の7月ごろを想定している。